

◎以西地区公民館平成29年度運営の状況と評価

(1) 運営の状況

項目	状況
年間総利用者数	163 団体 のべ 1,875 人 (公民館使用簿より)
開催事業・講座	計 53 回 のべ 2,700 人参加 (詳細は別紙「平成29年度事業実績」のとおり。)

(2) 評価

○評価項目及び評価

項目	評価の観点 (下記が適正にできているか)	特徴的取り組み・反省点など	評価
公民館の 目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> 関係者(職員・役員)の目的・目標理解と意欲的取り組み 	公民館の目的の認識が全体的に薄れているところもあるので、運営協議委員とともに住民への周知を行っていく。	B
地域全体で行う、まなびテーマの把握・反映・実践	<ul style="list-style-type: none"> 住民学習ニーズの把握及び事業への反映 地域課題、生活課題、現代的課題の事業への反映(講座リスト活用) 発達課題、家庭教育、奉仕・体験活動に関する学習機会設定 事業への住民参画推進 	<p>地域課題は多くあると思うが、講座をしてもなかなか興味を示してもらえないところもあったので、住民が多く集まる時に講座リストの活用を行っていききたい。</p> <p>船上キッズでは出前講座を利用したり、バスで出かけたりした。</p> <p>公民館の集いでは、第50回の節目の年で、詐欺被害予防講演会、キッズ教室、地元出身の日本舞踊家に出演していただくなどあらゆる年齢層にも来ていただける活動ができた。</p>	B
より自主的なまなびのススメと広がり	<ul style="list-style-type: none"> 自主運営学習グループづくり推進 住民の自主学習支援 学習リーダー、講師育成 学習成果発表機会設定(作品展など) 関係団体と連携しての事業実施 	<p>今年度は新しい自主運営グループを立ち上げを増やすことができなかった。</p> <p>おとこの料理教室は公民館には縁遠い年齢層のグループの運営拠点ができ、次のステップに繋がる。</p> <p>公民館祭において展示・発表の機会を旧校舎で展開、学習成果発表と新たな学習者確保を進めた。</p>	B
まなび情報提供と職員研修	<ul style="list-style-type: none"> 講座開催、学習グループの情報提供 図書など資料の提供 職員研修(町教委主催など)への参加と自己研鑽 	<p>公民館だより発行(4回)、ホームページ掲載、音声告知放送など情報提供に努めた。</p> <p>県(1回)・町(3回)・郡公連(2回)主催の研修に参加し、研鑽を続けた。</p>	A
利用者目線のまなびの館づくり	<ul style="list-style-type: none"> 館管理、貸館、不在表示の適宜実施 利用者への挨拶励行など、接遇改善 	不在表示を欠かさず行い、館利用が滞らない様に努めた。「来たときよりも美しく」を合言葉に住民啓発を実施、明るい挨拶と素早い対応に心がけた。	A
総括	<ul style="list-style-type: none"> 地域学習拠点として全体総括 次年度に向けての改善点 	<p>全体的におおむね順調に進んでいる。</p> <p>自主運営学習グループづくりをより強化したい。</p> <p>小学校こども園の保護者には、運動会や公民館の集いさい夢まつり等で出店をしてもらうなど協力体制の強化を積極的に行っていききたい。</p>	合計 17点 (20点中)

※評価 A: 適切・十分(4点) B: 概ね適切・概ね十分(3点) C: やや不適切・やや不十分(2点) D: 不適切・不十分(1点)

事業名	内 容	ね ら い	実績（開催日・回数・参加数）	
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年5回開催・のべ85名
	新春交流会	新年度の初めに、区長ほか各部長・公運協が集い1年間の事業等の協議を行う。	各部長との連携による効果的な事業実施説明と初顔合わせ	1/8・55名
	教養・体育部長会	公民館の集いや年間事業についての説明	各種行事への積極的参加を促し、協力体制をとる	年3回開催・のべ90名出席
	船上小学校地域戦略会議	統合により学校との連携がとりにくくなったので、意見交換を行う	学校と地域の連携・調整	10回/100名
女性教室	つまみ細工教室	江戸時代から伝わる技法で、布を小さく折りたたんで花などを作り上げる手芸教室	色々な手芸教室を希望している方が多く、教室後も沢山作り公民館の集い作品展示に出展	12/3・15名
	正月用フラワーアレンジメント教室	季節・行事に合わせて、アレンジを学ぶ	日本の伝統文化と現代的アレンジについての学習	12/29・19名
体育事業	以西ゴルフ大会	以西地区住民および出身者の団体・個人戦で優勝をあらそう	健康増進と地区住民の親睦を図る	5/28・32名
	ソフトバレー大会	男女別部落対抗戦で行う。ストレッチ体操はスポ少バレー部員が行う	健康増進と地区住民の親睦を図る	6/18・160名
	盆ソフトボール大会	部落対抗戦で行い、お盆の帰省客の参加も認めているため懐かしい話で盛り上がる	健康増進と地区住民の親睦を図る	8/14・160名
	グラウンドゴルフ大会	各部落が男性・女性・寿の部でチームをつくり参加する。保育園児から高齢者までよい交流の場となる	健康増進と地区住民の親睦を図る 地元郵便局に協賛いただき賑やかに開催	10/29・145名
	卓球大会	男女ペアのダブルス戦でリーグ戦で行う。他のスポーツに出れない部落も卓球には参加できる部落も多い	健康増進と地区住民の親睦を図る	2/4・150名
青少年（船上キッズ）	キッズコーナー（手作りおもちゃ：公民館の集い）	身近な小物を使って、簡単な手作りおもちゃを地元の方に指導してもらい作り上げる	ゲームが中心の遊びだが、手づくりのアナログのおもちゃを作ル体験をさせる	2/4・35名
	木工おもちゃ教室	公民館では開催しにくい木工教室をわらべ館の出張事業を利用して行う。	夏休みの宿題のお手伝いも兼ねて、親子で手づくりする姿もあり微笑ましい	6/5・33名
	夏休み見学ツアー	米子市児童センターととっとり自然環境館に見学に行き、エネルギーや環境について学ぶ。	エネルギーの仕組みを学ぶ。 夏休みの自由研究のお手伝い	8/19・20名
	ふなのえこども園川遊び&ピザ作り体験	ピザ釜を使ったピザ作りと、以西保育園近くの川で川遊びをする	こども園の児童が地域に出かけ、その地域ならではの活動を地域住民で支援する	8/2・40名
ナイトウォークラリー	以西の事業と協賛で行う。グループを作り、コマ図をたよりにチェックポイントで得点をかせぎ以西地区内を歩く	歩いて以西を見つめなおすとともに、チーム参加で協調性と完歩する強固な意志を養成する	7/22・72名	
成人教室	春&秋 チャレンジ登山	赤碕中学校区4館で行い、山楽会に行き先と当日の運営協力をお願いする	他地区の参加者との親睦と自然とふれあい達成感を味わう	5/14・11/5 45名
	男女共同参画講演会	絵本の選び方、読み聞かせの大切さを通してジェンダーについても学ぶ	ふなのえこども園保護者を対象とした講演会を開催、	8/10・50名
	琴浦大山警察署見学会	警察署の移転に伴い、事前見学会を地元駐在所の方の協力をいただき開催	地元で警察署が移ったので見学をさせてもらう。今まで以上に交通ルールを守る意識を高める	5/13・26名
	講演会	高齢者を狙った特殊詐欺、人事ではなく地域の方が詐欺被害に遭わないための講演会	他人事ではなく、身近にある詐欺事案を参加者の寸劇で学ぶ	2/5・40名
	ピザ教室	ピザ釜を使い、地元産の野菜で手づくりのピザを作る	地域にあるピザ釜を使い、電子レンジとは違う焼き上がりを楽しむ	11/19 12/17 45名
高齢者	野外研修会	奥津の紅葉を楽しみながら、聚楽園を見学の後、津山まなびの鉄道館を見学	孤立する事がないよう、高齢者の交流をはかる	11/16・28名

地域活性化活動	町民運動会	仮装コンテストから始まり、部落対抗戦の様々なプログラムを準備、実施	地区住民の健康増進と親睦・交流をはかる	9/24・400名
	公民館のつどい	各種団体、小学校、保育園児の力作を展示。各部落、保育園、小学校のかくし芸の披露	閉じこもりがちな時期、地域住民の交流親睦を図る	2/4・320名
	味噌加工	地元産材料を持ち寄り、各部落単位ごとに手作りの味噌作りを行う。役員会の開催	地産地消を合言葉に添加物のない安心安全な味噌づくり	12月～3月 70名
	いさい夢まつり	以西の伝統芸能である「以西踊り」を踊り、地域住民が集い親睦を図る	昔からお盆の時期に踊り継がれてきた行事を復活	8/5・260名
	以西おどり保存会	伝統芸能大会への出演、青少年への伝承指導や地区運動会への参加・総会 ふなのえ子ども園年長児と以西地区の方との交流会で、和尚さんの座禅・地域の方とも物づくり、昔遊び、以西踊りを踊って交流	地域の伝統芸能の伝承・保存活動 地域の伝統芸能の伝承・保存活動と地域の人との交流	年間8回 120名 3/3・45名
自主学習活動	自主運営化推進		住民の自主的学習活動奨励と拡大	エコクラフト：5回45名 G G同好会：24回480名 男の料理：5回65名 フラワーアレンジメント：12回135名 以西ゴルフ：10回100名